

# 平成 29 年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人日本フリークライミング協会

## 1 事業の成果

本年も、岩場整備を中心に行なうと同時に、岩場の地権者調査と許可の取り付けなど各地のアクセス関係の問題への対応をおこなった。  
会報を二回発行し、ウェブサイト、SNS を通して各種情報を発信した。  
競技関係では競技会 1 回、ユース選手育成行事を 2 回実施した。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① フリークライミングを行う上での安全及び事故防止のための支援に関する事業

内 容：全国各地の岩場の支点整備の実施と資材の提供、整備技術の普及

日 時：赤岩青巖峡（9 月 北海道）、有笠山（11～12 月 群馬県）、湯河原幕岩（12 月～1 月 神奈川県）、城山南壁（12～3 月 静岡県）、鳳来（11 月～3 月 愛知県）

従事者数：延べ 80 名

対象者：会員、一般

費用額：3,130,065 円

#### ② フリークライミングを行える岩場の保全のための支援・援助に関する事業

内 容：岩場の所有者調査、現況確認など

日 時：城ヶ崎海岸崩落状況調査（6 月、11 月 静岡県）、小川山消防視察協力（11 月 長野県）、鬼岩公園ボルト撤去打合せ（1 月 岐阜県）、十里木ボルダー現地調査（2 月 東京都）、城ヶ崎海岸浮き石処理（3 月 静岡県）

従事者数：延べ 16 名

対象者：会員、一般

費用額：283,900 円

#### ③ フリークライミング及び日本全国のフリークライミングを行える岩場についての情報の提供に関する事業

内 容：会報の発行、会員/一般向け配布物（安全ブック）の制作/配布、ウェブサイトによる情報の提供

日 時：会報（freefan）の発行は 4 月（75 号）、10 月（76 号）の 2 回、ウェブサイトは通年

従事者数：延べ 20 名

対象者：会員、一般

費用額：3,590,477 円

#### ④ 若手クライマーの育成・養成及びその支援に関する事業

内 容：大会成績に基づいて有望な若手選手を強化選手として指定し、協力クライミングジムの優待利用を可能とする事業

指定期間：7月1日～平成30年6月30日

従事者数：2名

対象者：会員、一般 20名

費用額：17,630円

内 容：若手クライマーを対象とした講習会（アスリートレッスン）の開催

日 時：8月29日（火）、30日（水）、12月27日（水）、28日（木）

会 場：埼玉県越谷市 Climbing gym Be born

従事者数：のべ8名

対象者：会員、一般

8月29日 14名、30日 9名、12月27日 23名、28日 13名

費用額：761,756円

費用額計：779,386円

⑤ フリークライミングの各種競技会の企画・開催に関する事業

内 容：第3回全日本マスターズクライミング選手権大会2017の開催

日 時：4月29日（土）

会 場：千葉県印西市 印西市松山下公園総合体育館

従事者数：27名

対象者：会員、一般 35名

費用額：362,276円

⑥ フリークライミングを行う個人・団体等との協力・支援に関する事業

内 容 鳳来清掃イベント協力

日 時 11月12日（日）

従事者数：2名

対象者 会員、一般

費用額 35,750円

⑦ フリークライミングの普及・啓発に関する事業

内 容 チッピング反対を訴えるステッカーの製作と配布。

日 時 4月～3月

従事者数：6名

対象者 会員、一般

費用額 129,600円

(2) その他の事業

① フリークライミングについての書籍・資料等の出版・販売に関する事業  
実施せず